

# 令和4年度市町村職員研修実施計画

～新たな学びの道へ～

## 1 研修の目的

近年、社会資本整備費の削減や市民ニーズの多様化・複雑化するなか、各自治体は住民の豊かで安全・安心な生活環境を守るため、「質の高い行政」が求められている。

この研修では、建設行政に携わる職員の専門性を高め、地方自治を担う人材として必要な以下の知

- (1) 公共事業に関する法令及び技術基準等の知識
- (2) 建設工事の積算能力と現場対応
- (3) 公共施設長寿命化に向けた現場対応
- (4) 主要建設資材の品質確保に関する知識



## 2 年間スケジュール

課名	企画研修課	工務第一・二課	技術支援課	材料試験課	資格取得支援	
4月	市町村職員研修ガイダンス					
	基礎知識習得					
5月	職員研修受講 A D E F B C	工事積算 (起工設計) L				
6月						(入札手続)
7月		現場施工管理 (月2回程度) K	材料試験 N	2級土木 施工管理技士 J		
8月					産学官連携事業 G I H	橋梁点検立会 (月2回程度) M
9月		工事積算 (変更設計) L	材料試験 O Q			
10月						
11月						
12月						
1月						
2月						
3月		研修報告作成・成果発表会				

## 3 研修内容

はじめにセンターの業務内容を把握し、所属する自治体の職員として必要な知識と技術の優先順位を考慮し、具体的な研修計画を作成する。

### (1) 公共事業に関する法令及び技術基準等の知識：企画研修課

群馬県から受注している「県土整備部職員研修」と、センターで実施する市町村職員を対象とした研修を受講し、最新の技術基準と知識を習得する。

主な研修として

- ① 市町村土木工事積算、委託積算研修 **A**
- ② 計画設計研修（道路・河川・砂防・景観） **B**
- ③ ICT研修（TLS活用、3次元データ処理等） **C**
- ④ 土木施設設計及び維持管理研修（橋梁、河川、ボックスカルバート等）… **D E**

技術職員として有意義な28テーマの研修 **F** を受講することができ、さらにシンポジウム **G**、講演会 **H** 及び現場見学会 **I** に参加することができる。（オンデマンド研修を含む）

- ⑤ 資格取得（2級土木施工管理技士）に向けた教育、支援を行う。 **J**

### (2) 建設工事の積算能力と現場対応：工務第一課・工務第二課

センターが市町村から受注している公共土木工事の積算から段階確認、工程管理、出来形管理や様々な打合せを経験することにより以下の知識の習得する。

- ① 道路、河川、下水道などの工事の設計・積算 **K**
- ② 道路、河川、下水道などの施工管理 **L**  
 [ 工事現場における段階確認や各種検査  
 現場における着眼点や指示・指摘事項 ]
- ③ 異常気象による被災箇所の復旧

また、自らが次年度発注する予定工事の積算に取り組む。

### (3) 公共施設長寿命化に向けた現場対応：技術支援課

道路施設メンテナンスサイクル関連業務の実務経験を通して、予防保全型の道路施設維持管理に関する以下の知識を習得する。

- ① 道路施設定期点検業務 **M**
- ② 補修計画の立案
- ③ 補修工事の積算・施工管理
- ④ 長寿命化修繕計画の策定



### (4) 主要建設資材の品質確保に関する知識：材料試験課

建設工事に必要な品質管理に関する各試験の実務体験し、併せて現場で行う施工管理や材料管理にどのように活かされるかを習得する。

- ① コンクリート試験（圧縮強度試験、中性化試験、曲げ強度試験） **N**
- ② 金属材料試験（鉄筋の引張試験、曲げ試験、ガス圧接継手検査） **O**
- ③ アスファルト試験（アスファルト配合設計、マーシャル安定度試験、密度試験） **P**
- ④ 土質・骨材試験（CBR試験、一軸圧縮試験） **Q**
- ⑤ コンクリートJIS工場の品質管理監査、アスファルトプラントの事前審査

## 4 研修のまとめ

最後に、本研修の内容と成果をまとめ、成果発表会で所属する自治体の関係者とセンター職員に向け、この研修で習得したことを発表し、併せてプレゼンテーション能力の向上を目指す。